

大田市立病院の運営に対する点検及び評価報告書
(令和3年度 運営状況)

令和4年12月

大田市立病院運営評価委員会

目 次

1. 大田市立病院の運営に対する点検及び評価報告	…1
2. 大田市立病院運営における個別評価事項	…2
3. 大田市立病院運営における令和3年度の実施状況及び結果	…4
4. 大田市立病院運営における各種数値	…13
5. 大田市立病院運営評価委員会委員名簿	…16
(参考)大田市立病院概要	…16

1. 大田市立病院の運営に対する点検及び評価について

良質な医療の提供と健全な経営の確立のためには、院内組織による検討だけでなく、外部組織による客観的な評価・提言が必要である。

大田市立病院では、外部有識者からなる運営評価委員会を設置し、概ね年一回開催することとしている。

今回、令和3年度の運営状況に対する点検・評価を行ったことからその結果を報告する。

(1) 点検・評価方法

大田市立病院運営評価委員会による点検・評価

- ・委員…外部有識者7人
- ・委員会開催日…令和4年11月7日
- ・方法…委員7人による項目別点検・評価を実施

【項目】

- 1) 収入確保対策、2) 経費削減・抑制対策、3) 経営安定化対策、4) その他の対策

【評価区分】

- A…目標が達成されている
- B…取り組みはしているが、現状未達成である
- C…目標が未達成である

(2) 点検・評価結果

(単位:人)

項目	評価区分		
	A	B	C
1) 収入確保対策	5	2	0
2) 経費削減・抑制対策	5	2	0
3) 経営安定化対策	3	4	0
4) その他の対策	3	4	0

※表中の数字は評価した委員の人数

2. 大田市立病院運営における個別評価事項

項目	評価・改善事項
1 収入確保 対策	<ul style="list-style-type: none"> ●常勤医師確保について、整形外科医及びリハビリ専門医がそれぞれ2名体制となり、呼吸器内科医も着任した。幅広く医師確保に努めている。 ●リハビリ処方及びリハビリ施行単位数の増加がみられ、外来患者数の増加、入院患者数の安定がみられる。回復期医療の充実に努めている。 ●コロナ禍においても、診療機能の持続・強化、回復期医療の充実、化学療法の拡充がみられる。 ●医療、患者サービスなどについては改善に向けて積極的な取り組みがなされ、評価出来る。継続性が求められるので今後更なる努力を期待する。 ●看護師確保において、地元の大田で働いてもらえるような「独自の改革」を打ち出してほしい。 ●開業医との連携は地域医療の維持・充実に欠かせない分野である。今後もこれまでの取組結果を踏まえて充実させていくことを期待する。 ●コロナ禍で様々な制約のある中で病院運営をされたことについて評価する。ただし、収入確保についてはコロナ補助金に頼った部分が大いなので、補助金が無くなった後、これからの経営状況を懸念する気持ちもある。 ●コロナ補助金が無くなった後や、今後の人口減に伴う患者減も見据え、さらなる病診連携の促進や外来患者満足度の向上等の集患対策が重要となってくると思われる。 ●患者満足度調査にあるように、外来での(待ち時間等について)改善要望が多い。これは新病院への期待への裏返しでもある。しっかり対応いただきたい。 ●患者満足度調査結果によると、総合的には満足度が良好であることから今後もさらなる向上を期待する。
2 経費削減・抑制 対策	<ul style="list-style-type: none"> ●薬剤、診療材料の適正化等、経費削減抑制に取り組んでいる。一方、人件費率が70%強と高い点や、新型コロナ補助金が無くなった後の経営も考慮すると、一層の取組も必要となると思われる。 ●ベンチマークシステムの利用、業者との価格交渉および近隣の病院との共同購入等による、医薬品・診療材料費の削減の効果は大きいと考える。引き続き適正化に望んでいただきたい。 ●それぞれ、削減に向けての取り組みを引き続き継続してほしい。
3 経営安定化 対策	<ul style="list-style-type: none"> ●医療従事者の確保・育成・実習に努力されている。今後も島根大学医学部、島根県医療審議会、又県内基幹型臨床研修病院連絡会等と連携を深められ、更に医療従事者の確保をお願いしたい。 ●今後も島根大学医学部と連携強化を図り、医師派遣を要望してほしい。 ●医療従事者の確保、育成に向けて積極的に取り組んで頂いている。従事者が定着するよう、働きやすい職場づくりに継続的に取り組んで欲しい。 ●経営安定に向けての積極的な取り組みは十分見られ評価出来るが、数値では目標に達していないもの、十分ではないものもある。 ●次世代を担う子供たちに、病院の良さを体で感じてもらう体験講座を検討してほしい。 ●中・高校生が身近に感じてくれる職場の一つとしての情報発信・職員が卒業したを学校訪問するなど、交流活動ができると良い。 ●人材確保育成に努力されているが、人事評価制度も人材育成の面において必要であると考えられるので、その導入に向けて努力していただきたい。

項目	評価・改善事項
4 その他の対策	<ul style="list-style-type: none"> ●患者の紹介について、専門医が今いないという理由で断られることがある。緊急の場合も市外の総合病院に紹介することがある。救急患者は診るという対応をして頂きたい。 ●5疾病、5事業への対応強化、コロナ対応等、積極的に取り組んで頂いている。今後も尽力をお願いしたい。 ●公益性・公共性の高い医療の確保、住民の健康づくりについては、このまましっかりと継続をお願いしたい。 ●住民の健康づくりや各種広報活動により地域に開かれた病院として積極的に活動がみられ、市民の関心も高まっており、今後の成果に期待する。 ●池田診療所への医師派遣など積極的な取り組みがなされている分野があるとともに、市民への新型コロナウイルスワクチン接種にも尽力されており、今後も公益性・公共性の高い医療の確保に寄与されることをお願いしたい。 ●繰入金10億強と多額となっている状況にあり、引き続き公立病院に求められる機能を確保される中で、経営改善の取り組みを進めて頂きたい。診療報酬で評価される項目の算定、補助金の活用などは時々求められる公立病院としての役割を担って頂くことで、自ずと良い方向に繋がるように思う。 ●市内には無医地区が数多くあり、安心して暮らし、安心して医療が受けられる環境整備が求められている。例えば緊急時の対応、通院の交通手段などは行政部局や関係団体などでの取組が基本ではあるが、市立病院への期待も極めて大きいものがある。これらの地域への対応なども加えて、市民全体で新病院を支えるという機運を醸成するなど、次期のプラン策定に当たって検討されてもよいのではないかと考える。 ●大田市立病院独自プランの改革に期待している。 ●新病院となり、施設に関しては申し分ないかと思っている。しかし、病院横の県道横の桜並木には葛が巻き付き荒れた状態となっている。管理が病院であるなら、こちらも整備を考えていただきたい。従来桜の季節には名所になっており、今の状態が残念である。 ●リハビリテーションスタッフの対応が良いという話をよく耳にする。 ●リハビリ公園で、子供たちが遊ぶ姿を高齢者の方がほほえましく見守っている様子を目にした。市民、病院利用者にとって身近な公園としても定着すると良い。

3. 大田市立病院運営における令和3年度の実施状況及び結果

1) 収入確保対策		
取組項目		令和3年度 取組状況及び取組結果
①診療機能の維持、充実	1 常勤医師確保による診療機能強化	【◆取組結果】 ○常勤医師数1人増 ・大田総合医育成センター1人増 ・初期臨床研修医は前年と同数を確保 (令和2年度末:6人→令和3年度末:6人) ・令和3年度末常勤医師数:39人(対前年度末比:+1人) ※医師確保対策の取り組みについては「3)-①医療従事者の確保」に記載。
	2 看護師確保による7対1看護体制の堅持	【◇取組状況】 ○看護師修学資金の貸付を継続。 ・令和3年度修学資金貸与者:8人、貸付額:480万円 ○6月24日及び29日で県内看護師養成学校等5校を訪問。 ・松江総合医療専門学校、島根県立大学、出雲医療看護専門学校、浜田医療センター附属看護学校、石見高等看護学院 【◆取組結果】 ○常勤看護師の採用(看護師5人、助産師1人) ・令和3年度末常勤助産師数:14人(対前年度末比:△1人) ・令和3年度末常勤看護師数:151人(対前年度末比:△1人)
	3 回復期医療の充実	【◇取組状況】 ○他圏域で骨折治療後または脳神経疾患リハビリ期の患者の積極的な転院受入。コロナ専用病床確保の影響により、一般病床が逼迫した状況にあったため、回復期リハビリテーション病棟への直入院を積極的に受入。 ○整形外科観血的骨接合術術後の患者を早期から回復期リハビリ病棟に転棟、回復期に要するリハビリテーションを提供。 ○リハビリテーション専門医が2名体制となったことにより、リハビリテーション科への紹介とリハビリ処方の流れ、入院主科との連携を円滑に実施。 ○整形外科医が2名体制となったことにより運動器リハビリの処方数増。 ○業務効率化によるリハビリ施行単位数の増加。 【◆取組結果】 ○令和3年度転院受入件数:189件(うち回復期リハビリ目的の紹介は120件、うち回リハ直入115件)(令和2年度:165件) ○令和3年度回復期リハビリテーション病棟平均入院患者数:38.5人(令和2年度39.9人)
	4 急性期医療と回復期医療に特化した病棟再編による診療単価の増加	【◇取組状況】 ○病床コントロールチーム会(毎週金曜)、日々の調整による適切な病床管理。 【◆取組結果】 ○入院診療単価が全体で2,982円増加。 (令和3年度44,774円、令和2年度41,792円)
	5 外来化学療法の拡充	【◇取組状況】 ○病棟配置のがん化学療法認定看護師による外来、在宅での横断的な看護ケア実施。 【◆取組結果】 ○外来化学療法加算算定件数 (令和3年度:647件、対前年度比:+321件) 呼吸器内科常勤医2名着任による増加、血液腫瘍内科患者の増加

取組項目		令和3年度 取組状況及び取組結果
①診療機能の維持、充実	6 専門外来の実施	<p>【◆取組結果】</p> <p>○リウマチ外来(毎週月・隔週木)、腎臓内科(毎週火)、血液・腫瘍内科(毎週水・木※平成28年3月までは週1回)ペースメーカー外来(第2金)、小児神経外来(第1木)、小児心臓外来(毎週火)、乳児健診(毎週火)、小児予防接種(毎週金)、女性泌尿器科外来(毎週木)、緩和ケア(第3木)、発達障害外来(第2木)</p> <p>○看護外来の継続実施(平成30年9月)糖尿病外来(毎週水)、ストーマ外来(毎週木)</p>
	7 病診連携、病病連携の推進	<p>【◆取組結果】</p> <p>○他院からの紹介率:32.6%(対前年度比:△2.9%)</p> <p>○他院からの各種検査の外部依頼を受託。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CT、MRI:1,601件(対前年度比:△50件) ・骨密度:187件(対前年度比:+36件) ・遠隔画像診断1,499件(対前年度比:△57件) <p>○開業医との連携強化を図るため、大田市・美郷町・江津市内21施設に対して訪問を実施。(令和3年10月)</p>
	8 開放病床の利用促進	<p>【◇取組状況】</p> <p>○診療所訪問時に開放病床(5床)の利用促進の依頼。</p> <p>【◆取組結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数:9人(対前年度比:△18人)、 ・利用日数:126日(対前年度比:△278日) ・利用率6.9%(対前年度比:△15.2%)
	9 訪問看護、訪問及び通所リハビリテーションの提供	<p>【◇取組状況】</p> <p>○訪問看護サミット等の研修参加(WEB参加)により、訪問看護の最新情報入手。</p> <p>○病棟業務等を行っている看護師を兼任で引き続き配置することにより訪問看護提供に係る体制を整備。</p> <p>○ターミナル期・医療依存度の高い利用者の積極的な受け入れにより、看護体制強化加算取得を継続。</p> <p>○従前の療法士配置体制を維持、圏域における在宅リハビリテーション機能を継続して提供。院内医師の協力を仰ぎ継続利用に必要な診察を行う体制を整備。</p> <p>○訪問リハ利用者1人あたりのリハビリ提供単位を増加し、収益増を図る。</p> <p>【◆取組結果】</p> <p>○令和3年度患者数(対前年度増減)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護:4,176人(+49人) ・訪問リハ:1,445人(△177人) ・通所リハ:506人(+79人)

取組項目		令和3年度 取組状況及び取組結果
②医療の 質の向上、患者 サービスの向上	10	<p>まめネットの積極的活用</p> <p>【◇取組状況】 ○参加・閲覧同意の普及活動。(ポスター掲示、幟の設置)</p> <p>【◆取組結果】 ○参加同意及び閲覧同意累計件数:4,843件(令和3年度末) ○新規参加同意及び閲覧同意件数:175件(対前年度比:△36件) ○当院が連携カルテを閲覧した件数:304件(対前年度比:△107件) ○他院が当院の診療情報を閲覧した件数:2,626件(対前年度比:+1,374件)</p>
	11	<p>入院患者の病態に応じた適切で柔軟な病床管理</p> <p>【◇取組状況】 ○病床コントロールチーム会(毎週金曜)、日々の調整による適切な病床管理。 ○院内HPのトップページに空床数を表示し、空床状況を周知。 ○コロナ専用病床確保の影響により、急性期病床が逼迫した状況の中、救急患者受け入れに対する病床確保に努めた。</p>
	12	<p>退院支援の取り組み</p> <p>【◇取組状況】 ○地域医療連携室が中心となり、入院早期から患者・家族と面談し、意向確認しながら院内多職種及び院外関係機関と連携を図り、退院支援を実施。 ○経営コンサルより入退院支援加算の対象者の拡大について助言を受け、リハビリや栄養の介入のみの患者について対象を拡大。 ○医療ニーズが高い患者が安心・安全に在宅医療に移行し、在宅療養を継続できるように開業医とのオンラインでカンファレンスを実施、また患者の自宅を訪問し、退院前後訪問指導を実施。 ○退院支援の質を向上させるため、退院した患者の退院支援について振り返るフィードバックカンファレンスを開始。</p> <p>【◆取組結果】 ○退院支援加算 I の算定 ・算定件数:1,319件(全ての退院患者の約37.1%程度) ○退院後訪問指導料の算定 ・算定件数:2件(令和2年度:0件) ○退院時共同指導料2 ・算定件数46件 ○退院前訪問指導 60件</p>
	13	<p>認定看護師の育成・配置による高い看護ケアの提供</p> <p>【◇取組状況】 ○感染対策室に専従で感染管理認定看護師の配置。 (平成28年4月1日感染防止対策加算 I 取得) ○糖尿病看護認定看護師(平成27年6月)、皮膚排泄ケア認定看護師(平成27年4月)を外来に配置。病棟、在宅での看護ケア実施。糖尿病看護外来にて、指導・フットケアを実施。 ○がん化学療法認定看護師(平成29年7月)を病棟に配置。外来、在宅での看護ケアを横断的に実施。 ○アドバンス助産師を外来に配置。乳腺炎にかかるケア、授乳や生活に関する指導、心理的支援等の包括的なケア及び指導を実施。助産師外来にて、正常妊娠の方の健診や保健指導を実施。 ○認知症看護に係る適切な研修を修了した看護師を病棟に配置。認知症ケアチーム会を2か月に1回行い、事例検討やマニュアルのメンテナンスを実施。認知症のアセスメントや看護方法等に係る適切な研修を受講した看護師を全ての病棟に3名以上配置し、認知症症状の悪化を予防、円滑な身体疾患の治療を提供。</p>

取組項目		令和3年度 取組状況及び取組結果
②医療の 質の向 上、患者 サービス の向上	14 健診事業の継続、充実	【◇取組状況】 ○人間ドックを毎週2日(火、金曜日各定員5人)継続実施。 ○検診検査の継続実施。 ○乳がん、子宮がん検診の継続実施。 【◆取組結果】 ○人間ドック ・令和3年度実施件数:192件(対前年度比:+32件) ・令和3年度受託先団体:7団体(対前年度比:変更なし) ○健診検査 ・令和3年度実施件数:0件(対前年度比:△1件) ○乳がん、子宮がん検診 ・乳がん検診:165件(対前年度比:+43件) ・子宮がん検診:507件(対前年度比:△314件)
	15 新病院の建設	【◆取組結果】 ○令和3年10月にリハビリ公園も含め新病院としてグランドオープン。
	16 全職員の接遇教育を継続的に実施	【◇取組状況】 ○接遇研修会の開催 ・「伝・ホスピタリティマインド」Webによる開催 開催日:令和4年2月8日 講師:小幡美香(さぎの湯温泉旅館竹葉 女将) 参加者:55名、参加できなかった職員は後日録画のDVDを視聴
	17 患者満足度アンケートの実施及び検討	【◇取組状況】 ○満足度調査を平成27年度から継続実施。 ・実施期間:外来:令和3年10月11日～15日 入院:令和3年10月11日～11月12日 ・回収数:外来529人、入院105人 ○訪問看護満足度調査を平成25年度から継続実施。 ・実施期間:令和4年2月1日～2月22日 ・回収数:79人 【◆取組結果】 ○調査報告書(別添資料)を作成し、院内外に周知。

取組項目		令和3年度 取組状況及び取組結果
③診療報酬の確保	18 診療報酬改定への迅速な対応	<p>【◇取組状況】</p> <p>○経営健全化検討委員会において、施設基準新規取得に向けての検討。</p> <p>【主な施設基準の取得状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通所リハビリテーション移行支援加算:令和3年4月1日(新規) ・BRCA1/2遺伝子検査:令和3年8月1日(新規) ・下肢末梢動脈疾患指導管理加算:令和3年10月1日(新規) ・糖尿病透析予防指導管理料:令和3年11月1日(新規)
	19 DPCの適正運用、管理	<p>【◇取組状況】</p> <p>○DPC分析システムにより、3か月毎のDPCデータ分析を実施し、各診療科へのフィードバックすることで質の高い効率的な医療の提供。</p> <p>○機能評価係数 令和3年度:0.1023(令和2年度:0.1023) コロナ禍により、機能評価係数は3年度据え置きとされた。</p> <p>※DPC制度(診断群分類包括評価制度)とは・・・病気に対して効率よく無駄のない透明性のある医療を行うことを評価するもので、基本的には、入院初期に医療資源を集中的に投入し、早く病気を治すことにある。結果的に入院期間(在院日数)は短くなり、患者さんの経済的な負担や身体的ストレスが軽減される。また、患者さんを効率よく最短距離で治療・回復をした場合に、病院の入院収益が最も大きくなるような仕組みになっている。</p>
	20 レセプト請求精度の向上	<p>【◇取組状況】</p> <p>○院内での点検・精査の強化についての継続実施。</p> <p>○診療報酬検討委員会での査定分析。</p> <p>○査定状況を医師、担当部署に情報提供。</p> <p>○診療会議において査定分析状況の周知。</p> <p>【◆取組結果】</p> <p>○令和3年度査定率:0.71%(対前年度比:△0.1%)</p>
	21 未収金の縮減	<p>【◇取組状況】</p> <p>○診療費のお願いについての文書等を送付し、督促強化。(105件)</p> <p>○不納欠損処理を実施(43人:152件:4,685千円)</p> <p>○会計年度任用職員を1人配置。</p> <p>【◆取組結果】</p> <p>○令和3年度末診療報酬個人未収金残高:11,978千円 (対前年度末:△5,188千円)</p>
	22 電子カルテシステムを活用した適正な収益確保及び請求漏れ防止対策の強化	<p>【◇取組状況】</p> <p>○新電子カルテの更新により、包括入院料に関して、算定時に包括項目と出来高項目が明確に表示されるため、精度の高い算定が可能。また、機能がより充実したことにより算定の可否についてより正確に把握でき、診療報酬請求の精度が向上。</p>

2)経費削減・抑制対策		
取組項目		令和3年度 取組状況及び取組結果
①人件費の適正化	23 時間外勤務の縮減	【◇取組状況】 ○看護師における変則3交代制勤務を引き続き実施。 ○衛生委員会にて各職場における時間外労働の実態について情報共有。
②委託費の適正化	24 業務委託内容の点検、見直しによる委託費の適正化	【◇取組状況】 ○医療事務委託業務について、総合評価方式により業者選定し委託。 ・期間:平成30年7月1日から令和5年3月31日まで ・毎月1回委託業者との定例会にて意見交換等を行っている。 ○医療機器フルメンテナンス契約について、保険(故障時に保険を活用し修繕対応)導入による経費削減について検討。 ○外部コンサルタントによる委託費適正化に向けた情報提供。
③その他費用の適正化	25 薬剤、診療材料の適正化	【◇取組状況】 ○※ベンチマークシステムの利用や担当職員に加え、院長・事務部長を含めて業者との価格交渉を実施。 ・医薬品:△3,190,299円、 ・診療材料:△5,345,634円(うち約3,500,000円は、令和2年度にコロナの影響による価格高騰があった品目が元の価格近くへ戻ったことによるもの) ○診療材料の同等機能以上で安価な製品への切替による費用の削減。 ・削減額:△3,072,750円 ○医薬品の後発医薬品への切替による費用の削減。 ・削減額:△310,313円 ○近隣の病院(県立中央病院他)との共同購入による診療材料費の削減。 ・共同購入前との比較:△272,800円 ※ベンチマークシステムとは・・・システムを導入している各病院から薬剤・診療材料の契約単価や購入実績データを集計し、平均単価、採用品の市場状況等が公表される。
	26 医療機器の適正な購入	【◇取組状況】 ○機器選定委員会による適正機器の選定。(価格、ランニングコスト、性能等の比較検討) ○新型コロナウイルス関連補助金(補助率10/10)を活用した医療機器購入。

3) 経営安定化対策		
取組項目		令和3年度 取組状況及び取組結果
①医療従事者の確保	27	島根大学医学部、島根県及び地域医療支援センターとの連携 【◇取組状況】 ○島根大学医学部各教室を定期的に訪問し、医師派遣を要望。 ○島根県が主催する医療審議会等の場で医師不足を含めた地域医療の実態を説明。 ・島根県地域医療支援会議(計4回出席、WEB開催) ○地域医療支援センターが主催する県内基幹型臨床研修病院連絡会(8病院)の場で、研修医の確保・研修内容等について情報交換や意見交換。 ・令和3年6月10日、8月6日、令和4年2月14日(WEB開催)
	28	大田市出身学生や研修医とのつながりを強化 【◇取組状況】 ○大田市医療政策課を交えた臨床研修推進室医師による大田市出身の医学生への面談(2回)、地域枠推薦希望の学生への面談(1回)。
	29	大田総合医育成センターの支援強化 【◇取組状況】 ○総合医療学講座、育成センター会議の事務局として、会議の開催支援。 ○育成センター医師の研究支援。
	30	医療従事者の勤務環境改善 【◇取組状況】 ○事務補助員の継続配置。(医師クランク16人、外来クランク11人、病棟看護師長クランク4人)
②医療従事者の育成	31	臨床研修病院としての体制整備等 【◇取組状況】 ○臨床研修専門部会で令和4年度から受け入れる研修医の指導計画を検討、作成。 【◆取組結果】 ○初期臨床研修医受入数。 ・令和3年度:2名(対前年度比2名減)。 ○学生、研修医の見学旅費支給制度を県内の学生24人、県外の学生1人が利用。 ○医学生奨学金の貸付を29年度から継続して実施 ・令和3年度奨学金貸与者:2人 貸付額:240万円
	32	医療現場実習の積極的な受入 【◆取組結果】 ○医学生実習を積極的に受入れ(5,6年生17人)、実習中に当院医師との交流を行った。 ○養成学校等からの実習受入。 ・看護師4人、理学療法士5人、作業療法士6人、言語聴覚士2人、薬剤師1人、管理栄養士2人、臨床工学技士2人、救急救命士1名
	33	病院見学の受入 【◆取組結果】 ○小学生の病院見学、中学生の職場体験、高校生の医療体験セミナー・インターンシップ等の受入。(小学校は中止) ・高校生4人、中学生3人

取組項目		令和3年度 取組状況及び取組結果
②医療従事者の育成	34	職員の経営参画意識の向上 【◇取組状況】 ○保険診療に関する説明会を、全職員を対象に実施。 ・令和3年10月(3日間、計3回)、令和4年3月(3日間、計3回) ○毎月開催している診療会議において、患者状況及び収益状況等を説明。 ○部長職以上の職種で構成された部長会において、経営状況を説明。 ○外部コンサルタントによる更なる経営分析及び経営改善策の実行支援に関する説明会を実施。 【◆取組結果】 ○院内における行動計画、経営改善目標数値を定めた経営改善計画を策定。
	35	病院情報・経営情報の収集、課題抽出、実践 【◇取組状況】 ○電子カルテシステムトップページに病院情報、経営情報の速報値を掲載し、職員の情報共有。
	36	経営健全化検討委員会の開催及び取り組み 【◆取組結果】 ○10回開催。診療報酬改定など計12個の議題について協議、報告。(1回のワーキンググループ検討会を含む) ○経営改善計画における経営改善に向けた具体的な取組案について意見集約。
	37	人事考課制度の適切な運用による人材育成 【◆取組結果】 ○インセンティブ支給の廃止により人事評価未実施。 ※新たな人事評価制度の構築に向け、検討を進める予定。

4)その他の対策

取組項目		令和3年度 取組状況及び取組結果
①公益性、公共性の高い医療の確保	38	災害拠点病院としての機能維持 【◆取組結果】 ○災害時における優先的な給水について、大田市水道事業局と協定を締結。
	39	5疾病5事業への積極的関与 【◇取組状況】 ○5疾病(がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患)5事業(小児医療、周産期医療、救急医療、災害医療、地域医療)に対応。 ○特に、地域医療では診療所の診療体制確保のため、引き続き池田診療所へ医師を3名派遣。 【◆取組結果】 ○がんの早期発見に繋がる内視鏡検査件の再開。(前年度はコロナの影響により検査を縮小) ・胃内視鏡検査:196件(対前年度比:+50件) ・大腸内視鏡検査:488件(対前年度比:+38件) ○胃がんの早期治療件数増。 ・胃粘膜下層剥離術:14件(対前年度比:+6件) ※胃粘膜下層剥離術とは…早期の病変に対して、胃カメラで消化管の内腔から粘膜層を含めた粘膜下層までを剥離し、病変を一括切除するという治療法
	40	一般会計からの適正な繰入による公益性、公共性の確保 【◆取組結果】 ○令和3年度繰入金総額:1,076,880千円
	41	地域包括ケアシステム構築への積極的関与 【◇取組状況】 ○地域包括ケアシステム構築に向け、院内では多職種で連携し、入退院支援。 ○地域の研修会にも積極的に参加し、顔の見える関係づくりに向け、地域の様々な関係機関(医療・介護・行政等)と連携。 ○市と委託契約により、リハビリテーション職員による介護職員や行政等への助言、住民等への助言・指導の実施。 ○第1回大田市立病院 地域連携研修会を開催(令和4年1月)。

取組項目		令和3年度 取組状況及び取組結果
②住民の健康づくり	42	糖尿病教室、栄養指導の実施 【◆取組結果】 ○糖尿病教室(外来でのポスター掲示にて6回実施)。 ○栄養食事指導実施。 ・個人指導:3,645件、集団指導:未実施(新型コロナウイルス感染症感染防止のため)
	43	講演会、出前講座の実施 【◆取組結果】 ○出前講座は新型コロナウイルス感染防止のため中止。 ○ふれあい講座の実施。 外来でのポスター掲示及び電子掲示板を利用して、健康に関する知識及び健康の維持に役立つ情報を提供。(計5回 夏の脳梗塞、膀胱炎、感染症対策等)
③広報活動の推進	44	広報活動の推進 【◆取組結果】 ○病院広報誌「銀の風」を4回発行。 ○ホームページ、フェイスブックによる適時な情報発信。 ○ぎんざんテレビを活用した情報発信。
④その他	45	各種イベントの開催 【◆取組結果】 ○病院まつりは新型コロナウイルス感染症感染防止のため中止。 ○看護の日 ・エントランスホールで看護の日の紹介や看護師の取組みなどをポスター掲示により紹介。栄養指導のブースを設置。院内保育所園児の作品などを展示。
	46	職員の健康管理 【◆取組結果】 ○衛生委員会を月1開催し、職員の健康管理に係る所管事業を実施。 ・職員定期健康診断:年2回(令和3年5月、11月) ・ストレスチェック:令和3年10月 ・各種ワクチン接種:麻疹、風疹、B型肝炎、インフルエンザ ・健康管理研修会年1回開催:テーマ「パワーハラスメント対策」(動画視聴により実施) ○年次有給休暇5日以上取得義務化により、各所属において計画的に取得するよう所属長に周知。
	47	その他 【◇取組状況】 ○整形外科医が2名体制となり、外来リハビリ(運動器)患者数の増加。 ○感染症対策を兼ねて、外来リハ担当2名(終日)、訪問リハ担当2名(終日)であったものを、午前外来対応2→4名、午後訪問リハ対応2→4名として人員を集約し、それぞれ時間区分して従事。 ○経営改善計画の策定。 【◆取組結果】 ○外来リハ(運動器リハ)の請求点数増加(令和3年 922,050点、令和2年 668,253点、令和元年 451,125点)。 ○計画目標を上回る効果があり、単年度資金収支は550百万円の黒字決算。

4. 大田市立病院運営における各種数値

■ 医療機能・医療品質に係る数値

(1) 医療機能・医療品質に係る項目

項目	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (実績)	元年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (実績)
救急患者数(人)	6,170	5,430	5,844	6,325	6,076	5,654	6,123
手術件数(人)	609	617	616	603	498	638	715
分娩件数(件)	266	262	262	225	205	200	198
臨床検査件数(件)	578,462	598,261	772,572	758,745	796,497	800,594	883,091
画像診断装置稼働件数(件)	23,626	22,723	23,641	23,955	23,588	24,952	26,592
薬剤管理指導件数(件)	2,848	3,358	3,189	3,618	3,584	3,493	3,121
栄養指導人数(人)	4,787	4,156	2,697	3,023	3,517	3,578	3,645
リハビリ件数(人)	33,159	40,338	41,579	42,305	39,088	45,158	44,577
療法士1日あたりリハビリ施行単位(単位)	-	-	-	-	-	-	15.6
訪問看護患者数(人)	3,162	3,427	3,563	3,988	3,908	4,127	4,176

(2) その他の項目

項目	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (実績)	元年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (実績)
研修医・医学生の研修受入件数(人)	36	36	36	31	23	25	28
看護師・セラピスト等の実習受入人数(人)	90	107	80	63	54	27	23
人間ドック件数(件)	140	175	171	192	170	160	192
健康診断件数(件)	179	226	231	254	237	273	265
健康・医療相談件数(件)	1,514	1,921	2,045	2,026	2,013	2,260	2,320

■ 経営効率化に係る数値

(1) 収支改善についての項目

項目	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (実績)	元年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (実績)
経常収支比率(%)	89.6	96.6	96.1	95.5	94.6	95.2	102.1
医業収支比率(%)	83.9	90.1	90.0	89.3	89.3	86.4	80.7
資金期末残高(百万円)	335	168	222	53	490	200	536

(2) 収入確保に係る項目

項目	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (実績)	元年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (実績)
1日平均入院患者数(人)	184.5	185.5	183.2	183.0	168.5	178.8	163.0
1日平均外来患者数(人)	404.6	417.7	433.9	440.4	455.3	472.4	495.1
入院単価(円)	35,324	37,160	38,666	38,855	39,853	41,792	44,774
外来単価(円)	9,081	8,963	8,653	8,788	9,227	9,083	10,619
病床利用率(%)	57.1	57.5	56.9	56.8	52.4	78.9	75.7
医業収益(百万円)	3,568	3,770	3,856	3,890	3,822	4,091	4,276
訪問看護収益(百万円)	32	34	33	39	38	40	44

(3) 経営比較分析についての項目

項目	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (実績)	元年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (実績)
給与費対医業収益比率(%)	74.4	71.7	71.5	71.5	72.7	75.3	71.0
材料費対医業収益比率(%)	17.7	15.8	15.5	15.7	15.4	15.6	18.3
経費対医業収益比率(%)	18.9	17.4	17.3	17.8	18.1	17.9	18.6

(4) 職員数について

項目	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (実績)	元年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (実績)
常勤医師数(人)	22	25	29	31	29	38	39
年度末職員数(人)	400	399	405	411	403	416	412

(5) その他

項目	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (実績)	元年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (実績)
健康講座・予防教室等の開催(回)	25	25	31	33	31	13	11

■ 収支の状況について

(1) 収支実績(収益的収支)

(単位:百万円)

区分		年度	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (実績)	元年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (実績)
収 入	入院収益		2,350	2,530	2,591	2,593	2,448	2,704	2,636
	外来収益		895	907	921	943	1,011	1,030	1,265
	一般会計負担金		558	608	611	635	631	728	746
	その他		197	196	184	227	180	768	1,085
	計 (A)		4,000	4,241	4,307	4,398	4,270	5,230	5,732
支 出	給与費		2,679	2,727	2,781	2,811	2,807	3,112	3,082
	材料費		638	601	605	616	595	646	781
	経費		681	661	674	700	700	740	797
	減価償却費 資産減耗費		278	223	252	260	209	279	676
	支払利息		44	42	39	35	36	44	51
	その他		141	137	133	148	171	1,055	233
	計 (B)		4,461	4,391	4,484	4,570	4,518	5,876	5,619
差 引 (A) - (B)			△ 461	△ 150	△ 177	△ 172	△ 248	△ 646	113

(2) 収支実績(資本的収支)

(単位:百万円)

区分		年度	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (実績)	元年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (実績)
収 入	企業債		288	528	356	1,778	7,971	723	563
	基金繰入金		44	44	44	144	44	90	0
	一般会計負担金		287	222	221	272	513	286	331
	その他		4	2	5	104	340	166	53
	計 (A)		623	796	626	2,298	8,868	1,265	947
支 出	建物整備費		320	147	177	1,872	7,583	761	499
	器械備品整備費		93	436	239	65	994	179	148
	企業債償還金等		318	325	332	444	438	433	541
	長期貸付金		12	9	8	7	7	11	7
	その他		1	1	0	0	0	1	0
	計 (B)		744	918	756	2,388	9,022	1,385	1,195
差 引 (A) - (B)			△ 121	△ 122	△ 130	△ 90	△ 154	△ 120	△ 248

5. 大田市立病院運営評価委員会委員名簿

(敬称略)

所 属	役職	氏 名	備 考
大田市社会福祉協議会	会長	西村 俊二	委員長
大田市医師会	会長	福田 一雄	副委員長
大田市議会	民生委員長	森山 幸太	
大田市自治会連合会	会長	安藤 彰浩	
病院ボランティア カーネーション	会長	森山 朝子	
島根県県央保健所	所長	杉谷 亮	
大田市	健康福祉部長	林 泰州	

(参考) 大田市立病院概要

病院名	大田市立病院
経営状態	地方公営企業法全部適用
所在地	島根県大田市大田町吉永1428番地3
病床数	229床(一般180床、療養45床、感染4床)
診療科目	内科、精神科、神経内科、呼吸器内科、消化器科、循環器科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科 (計20科目) ※令和3年度において、呼吸器外科、心臓血管外科は休診